

# 教育研究研修センターだより



通巻 No.295

令和7年1月15日（水）発行

## 自立する子どもを育てるために

岡山市小学校長会 会長  
岡山市立鹿田小学校 校長 半澤 秀行

岡山市小学校長会では今年度、指定都市小学校長会研究協議会岡山大会を11月6日、7日の2日間にわたって開催しました。その2日目に全体研究会の講師として元プロマラソン選手の有森裕子さんをお招きしました。有森さんといえば、バルセロナオリンピックで日本の女子マラソン初のメダリストとして有名です。続くアトランタオリンピックでも3位に入り「初めて自分で自分を褒めたい」という名言を残された方です。現在は日本陸連の副会長や世界陸連の理事などの要職にも就かれ、日本中で知らない方はいないといっても過言ではないでしょう。

講演は、有森さんご自身の生い立ちから実業団入社までを振り返ってのお話でした。私自身、有森さんのお兄さんとは同級生で親しく、小学校の時にはお宅にお邪魔したこともありました。もちろん、裕子さんのことは友達の子として知っていましたが、講演で初めて知ることが多く、新鮮に感じました。幼い時（主に小学校時代）、新生児股関節脱臼の影響により運動することが苦手だったこと、賢く運動もできたお兄さんの影響で、「私は何もできない」と思い、自己肯定感が低かったことなどは、全く知りませんでした。

それが、小学校4年生の時の夏休みにあったサマースクールで出会った先生によって変わったと話されたことがとても印象に残りました。その先生は、有森さんに対して「有ちゃんの話を知ると、私はできん、できん言うて、人のことを羨ましがることばかりじゃな。何か一つでええからやり通してみたらええじゃねんか。それからじゃろ。」この一言が大きなきっかけとなったと言われていました。有森さんは、この先生なら、私と向き合ってくれるんじゃないかと思ったそうです。そして、何か一つをやり通すために、5年生になる時に、その先生がもっていたクラブ活動（陸上）に入ることにしたそうです。その先生に認められたい、自分を分かってもらいたい、その強い思いが、陸上と向き合うきっかけになったと話されていました。そこでの経験をもとに、今度は周りから認めてもらうために中学校の体育祭で800m走に3年連続して出場したこと、その小さな実績を高校の陸上部へと繋いでいったと言われていました。それぞれのターニングポイントとなる場面で先生との出会いと関わりが大きかったことなども岡山弁を交えて熱く語られ、私たち教師の存在の大きさについて改めて認識を深くしました。

有森さん自身が考え、試行錯誤し、信じた糸を少しずつ太くしていったオリンピックに繋げていくまでのことが分かり、大いなる感動を生みました。

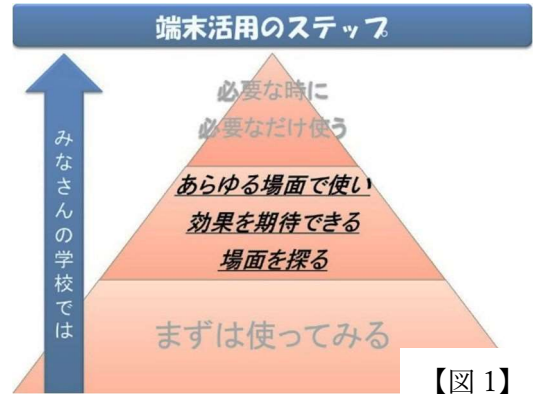
今回、有森さんのお話を聞いて、私たち教師の仕事って何だろうと考えました。優れた授業力とよりよい学級集団をつくる力など、これらのことも、とても大切ですし、今も必要とされている力だと思います。一人一人の子どもを丸ごと認める力が根底になければならないと強く思ったのでした。

校長として、それぞれの先生たちが、じっくりと一人一人の子どもと話ができているだろうか、そもそも子どもを一人の人間として認めているのだろうか、表面的なことにとらわれ、子どもの内面や本質に迫れているのだろうかと様々なことを考えました。

学校は今、働き方改革の大きな流れの中にいます。授業支援ソフトなどの新たなツールも入り、その習熟のため目の回るような忙しさです。そうした中でも子どもとの関わりの根底に流れているものは大切にしていきたいという思いを強くしました。

## 効果的に ICT を使った授業づくり

先生ご自身の「端末活用のステップ」【図1】は、どの段階でしょうか。また、学校として見ると、どの段階でしょうか。ステップ1の「まずは使ってみる」段階から徐々にステップを上げ、「必要な時に必要なだけ使う」段階に来たなら、次のことを意識して授業を作っていただきたいと思います。



常に「より良い授業」をめざすことが“前提”  
そのうえで、端末を使うと授業が効率化する、授業の質が高まると思われる場面で端末を使うこと。

「授業の質が高まる」とは

- ・ 友達の考えやまとめを手元で見ることができるため、自分の考えを持ちやすくなり、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
- ・ そのため、授業に意欲的に参加できるようになる。

本年度、岡山市全体として見ると、端末活用が飛躍的に進みました。特に公開授業を実施してくださった12校では、ICT機器の活用が有効だと思われる場面で端末や大型提示装置などを活用し、教科・領域の目標を達成するための授業を進めてくださいました。

各校から多くの先生が授業を参観され、ご自分の学校に持ち帰って効果的なICT活用を広めていただいたことと思います。

### 授業公開校一覧

岡山中央小 横井小 操明小  
 古都小 甲浦小 浦安小  
 妹尾小 芳泉小 箕島小  
 山南学園 岡山中央中  
 竜操中



中学校では、「デジタルか、アナログか」の二択ではなく、両者の良いところを融合した授業【画像1】や、グループで実験を行い、その結果を端末に入力してグラフ化する授業【画像2】など、新たな活用にチャレンジしています。

小学校では、友達と一緒に学習する中での端末活用【画像3】【画像4】や、班で1台の端末を見ながら話し合うなど、協働的な学びでの端末活用【画像5】も進んできています。

【画像3】



【画像4】



【画像5】

授業を参観できなかった方は、学習指導案、授業のポイント、動画を岡山市教職員専用サイト「明日から、かわら版！」の「事例一覧」に順次公開していきますので、ご覧ください。